

令和6年度 学校経営方針(概要)

令和6年4月

板橋区立志村坂下小学校長 松野薫子

◎ 目指す学校像

「すすんで学び、ともにかしくたくましく」

- ・喜んで登校、満足して下校できる学校
- ・学ぶ喜びを追求できる学校
- ・仲間と関わり合う中で、自分一人ではできなかったことができる学校

「地域から信頼される学校」

- ・子供たちが楽しそうに通っている学校
- ・地域の誇りとなる学校(子供が学校の広告塔)
- ・地域コミュニティの核になる学校

◎ 学校教育目標(目指す児童像)

かしく 自ら考え 進んで学ぶ子ども	なかよく 豊かな情操のある子ども	たくましく 健康でたくましい子ども
<ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎基本が身に付いている子 ・学習に見通しをもち、意欲的に取り組む子 ・他の考えを取り入れながら考える子 ・互いのよさを尊重しながら学び合える子 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の高い子 ・自己抑制ができる子 ・思いやりがある子 ・他のために積極的に動く子 	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめない強い心をもつ子 ・やり遂げる体力がある子 ・くじけない子(レジリエンスの高い子) ・進んで鍛えようとする子

◎ 最重点教育活動(教育課程届より)

板橋区授業スタンダードに基づいた、「児童が学びを進める授業づくり」(「坂下小スタンダード」)を全学級で推進することで、問題解決を主にした学習、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善をさらに進め、児童に学びに向かう姿勢を意識させ、学力向上を図る。

◎ 校内研究 研究主題と目指す児童像

「自分の考えをすすんで表現し、考えを広げる児童の育成」 ～志村坂下小スタンダードに基づいた学び合いを通して～

学び合いや語彙を増やす取組を通して、自分や友達の考えを比較し、共通点や相違点に気づくことで、より考えを深めていく児童の育成を目指します。

- 校内での研修を通して、授業づくり・校務改善を行う。
 - ・若手教員が安心して進められる授業づくり
 - ・校内で「学び方」をそらえることで、学年が上がっても児童が安心して学べる
 - ・児童が一人一台端末やデジタルコンテンツを活用しながら学び合うアイデアを共有する
- 「主体的・対話的で深い学び」とは
 - ・主体的…児童が学びの意味を知り、自らを高めようとする
 - ・対話的…アウトプットを通して、自分の意見を整理すること、他の意見を必然性をもって聞くこと
 - ・深い学び…過去の自分の考えと今の自分の考え、他の児童や先達の考えと自分の考え、書物と自分の考え、等々、自分の知り得た知識や知恵と自己の考えを結び付けながら自分の考えを広げ、深めること

「できる子」が進める授業から、「全員参加型・活躍型」の授業への変革を進めます。
教師も学びます。それぞれの教員がもつアイデアを共有することで児童の学びを豊かにします。

◎ 目指す教職員像

- 教師は授業で勝負する…**教育は日進月歩、教師も学び続ける**
 - ・「授業改善」から「授業革新」へ(計画的な学習の積み重ね)
 - ・OJT「15分研修」の活用
 - ・advance研修(必要感に合わせた研修)
- 学校は組織体である…**全員が当事者**
 - ・副校長・主幹教諭を中心として、組織として行動
 - ・悪い知らせほど早く報告
- 働き方改革…**ゆとりから生まれる新しい発想**
 - ・トライ&チャレンジ(うまくいけば続ける、よくなければやめる。)
 - ・思い切った業務削減(ワークテストを減らす、等)
- 教育公務員として
 - ・信用失墜行為の根絶
 - ・服務事故の根絶(体罰、個人情報紛失・流出、交通事故等)
 - ・心身の自己管理(メンタル・体調の調整)

「どの子も伸ばす、(志村)坂下小の教育」をスローガンに掲げ、児童一人一人の「学びの保障」を意識して取組みます。

【行事、その他について】

- 学習発表会
 - ・体育的行事「坂スポ2024」5月25日
「走」の領域・「表現」の領域・「団体競技」
(昨年度より1種目増えます)
 - ・文化的行事「展覧会」11月16日(土曜授業プランで公開)
- 授業公開…平日の授業公開を設けます。
5月1日、7月5日(いずれも1～3校時公開予定)
- 坂下まつり 9月21日(土曜授業プランで公開)

◎ 今年度の重点的な取組

《学力の向上》	《豊かな人間性の育成》	《体力の向上》	《地域や近隣学校と連携した学校運営》
<ul style="list-style-type: none"> ○「いたばし学力向上基本方針」 ・「授業スタンダード」の遵守 ・授業規律の徹底 ○子供の学習権の保障 ・「合理的配慮」の提供 ○基礎的・基本的な学力の定着 ・各学力調査に表れる学力の定着(全国・都・区・MIM・RST等) ・補充教室・個別学習による学力の定着 ○思考力・表現力の育成 ・具体的な事象・現象の記述による表現力の向上 →短作文への取組 →語彙に着目する俳句づくりへの取組 ・「すきま読書」による感性・表現力の向上 ・「机上の辞典・辞書」の実施による語彙力の向上 ○「読み取る力」の育成 ・発問・指示で明確な短文を示す ○家庭学習の習慣化 ・「宿題」ではない「自分学習」への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ○「温かな居場所のある教室」づくり ・穏やかな学習環境の保障 ・「坂下のやくそく」の徹底 ・hyperQ-Uテストの活用 ○コミュニケーション能力の育成 ・場面に応じた望ましい態度や言葉づかい ○特別支援教育体制の推進 ・特別支援教育委員会の活用 ・妻の子の専門性 ・個別支援計画の作成 ○いじめの未然防止、早期発見、 「見逃しゼロ」へ ・SC、SSWとの連携 ○不登校の未然防止、早期対応 ・子供への積極的な声かけを通して子供の変化に気付く 「教科書を正しく読める子」を育てる。⇒生涯にわたり、自分で学び続けられる人を育てることにつながります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行動体力の向上 ・スポーツテストの結果活用 ・健康週間の完全実施 ・達成目標を各自にもたせた体育授業 ○防衛体力の向上 ・保健指導・食育指導 ・体育(保健)、家庭科授業の活用 ○心のたくましさの向上 ・SOSの出し方を知る ・へこみにくい心を育てる 「心のたくましさ」を追加レジリエンス(強靭力、回復力)の向上 《写真》 本校高学年児童が育てている麦 「麦」の強さをめざして 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域・保護者と共にある学校づくり ・iCS委員会との共同な学校運営 ・学校支援地域本部のサポートの活用 ・地域行事への積極的な参加 ○学校の情報提供 ・ホームページ等による情報発信 ・土曜授業プランによる学校公開 ○「学びのエリア」での小中一貫教育 ・授業スタンダードによる一貫した学習規律 ・「表現力向上」に向けた取組 ○地域と共に進める学校評価 ・各種アンケートの回収率向上 《イラスト》 本校のキャラクター「みどりん」 (今年は開校66周年です)